実務経験のある教員等による授業科目一覧**【スポーツ鍼灸学科】**

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
東洋医学臨床論２	2	馬男木亨		
東洋医学臨床論３	2	馬男木亨		
鍼灸理論２	2	宮原正人		
社会鍼灸学	2	大庭慎一郎		
臨床実技１	1	山野州康		
臨床実技２	1	大中孝子		
臨床実技３	1	宮原正人		
臨床実技４	1	村上信介		
臨床実技５	1	馬男木亨		
臨床実習３	1	大中孝子		
臨床実習４	1	大庭慎一郎	村上信介	篠原　卓也
		宮原正人	馬男木亨	
総合演習３	2	大庭慎一郎	村上信介	篠原　卓也
		宮原正人	馬男木亨	
総合演習４	2	宮原正人		
総合演習５	2	黒川典子		
総合演習６	2	大庭慎一郎	村上信介	篠原　卓也
		宮原正人	馬男木亨	
合　　計	**23**			

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学各論2	担当者名	宮原　正人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	現代医学的観点からそれぞれの器官の疾患の病因、症状、疫学、検査、治療法を理解することを目的とする。
成績評価	原則として、授業態度、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	宮原　正人（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論　第2版	奈良　信夫・佐藤千史他　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	呼吸器疾患1
2	呼吸器疾患2
3	呼吸器疾患3
4	血液・造血疾患1
5	血液・造血疾患2
6	血液・造血疾患3
7	神経疾患1
8	神経疾患2
9	神経疾患3
10	中間試験・解答　解説
11	神経疾患4
12	神経疾患5
13	神経疾患6
14	その他の領域1
15	その他の領域2
16	その他の領域3
17	その他の領域4
18	その他の領域5
19	期末試験
20	期末試験解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学各論3	担当者名	皆川　剛

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	現代医学的観点からそれぞれの器官の疾患の病因、症状、疫学、検査、治療法を理解することを目的とする。
成績評価	原則として、定期試験（中間試験2回、期末試験1回の計3回実施する）、追・再試験の結果、及び出席により評価する。
その他	皆川　剛（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論　第2版	奈良　信夫・佐藤千史他　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第5章　腎・尿器疾患　1
2	第5章　腎・尿器疾患　2
3	第5章　腎・尿器疾患　3
4	第5章　腎・尿器疾患　4
5	中間試験（1回目）　第6章　内分泌疾患　1
6	第6章　内分泌疾患　2
7	第6章　内分泌疾患　3
8	第6章　内分泌疾患　4
9	第7章　代謝・栄養疾患　1
10	第7章　代謝・栄養疾患　2
11	中間試験（2回目）　第9章　循環器疾患　1
12	第9章　循環器疾患　2
13	第9章　循環器疾患　3
14	第9章　循環器疾患　4
15	第9章　循環器疾患　5
16	第12章　リウマチ性疾患・膠原病　1
17	第12章　リウマチ性疾患・膠原病　2
18	第12章　リウマチ性疾患・膠原病　3
19	期末試験
20	解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学各論4	担当者名	大庭　慎一郎

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数						40

授業概要	臨床医学各論1～3の内容を詳細に確認し、総復習を行う。
成績評価	原則として、小テスト、定期試験および追・再試験の結果により評価する。
その他	大庭　慎一郎（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論　第2版	奈良　信夫・佐藤千史他　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	総論1、総論2
2	整形外科疾患、関節疾患
3	骨代謝性疾患、骨腫瘍
4	筋疾患、腱疾患
5	形態異常
6	脊椎疾患1、脊椎疾患2、脊髄損傷
7	外傷1、外傷2
8	その他の整形外科疾患
9	中間試験
10	感染症
11	消化管疾患、肝・胆・膵疾患
12	呼吸器疾患、腎・尿器疾患
13	内分泌疾患、代謝・栄養疾患
14	循環器疾患
15	血液・造血器疾患、神経疾患
16	リウマチ性疾患・膠原病
17	一般外科、麻酔科
18	婦人科疾患、皮膚科疾患、精神科疾患
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	リハビリテーション医学	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	リハビリテーションの基礎のうち最も大切な障害学と運動学を習得し、正しい知識を深めることを目的とする。
成績評価	定期試験の成績、小テスト、出席状況、授業態度を総合的に判断し評価する。
その他	馬男木　亨（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	リハビリテーション医学　第4版	土肥　信之　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書	配布資料		

回数	授業計画
1	リハビリテーションと障害
2	リハビリテーションと医学と医療
3	障害の評価①
4	障害の評価②
5	脳卒中①
6	脳卒中②
7	脊髄損傷①
8	脊髄損傷②
9	切断①
10	中間試験　解答・解説
11	切断②
12	小児疾患
13	パーキンソン病
14	関節リウマチ
15	変形性関節症
16	呼吸器疾患
17	心疾患
18	運動学の基礎
19	期末試験
20	期末試験の解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	医療概論	担当者名	篠原　卓也

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数						40

授業概要	東西両医学・医療史および現代の医療制度，医療倫理についての理解を目的とする。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果、及び出席により評価する。
その他	篠原　卓也（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　経絡経穴概論　第2版	教科書執筆小委員会	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	現代の医療と社会（医療と社会・医療従事者）
2	現代の医療と社会（医療・福祉施設・医療経済）
3	社会保障制度（医療保険のしくみ・公費負担医療）
4	社会保障制度（介護サービス行政）・医療倫理（医療の倫理）
5	医療倫理（医療倫理教育・施術者としての倫理）
6	鍼灸臨床で必要な経絡経穴（要穴①）
7	鍼灸臨床で必要な経絡経穴（要穴②）
8	鍼灸臨床で必要な経絡経穴（要穴③）
9	鍼灸臨床で必要な経絡経穴（骨度法）
10	中間試験
11	鍼灸臨床で必要な経絡経穴と解剖学（正経十二経脈①・呼吸器系①）
12	鍼灸臨床で必要な経絡経穴と解剖学（正経十二経脈②・呼吸器系②）
13	鍼灸臨床で必要な経絡経穴と解剖学（正経十二経脈③・消化器系①）
14	鍼灸臨床で必要な経絡経穴と解剖学（正経十二経脈④・消化器系②）
15	鍼灸臨床で必要な経絡経穴と解剖学（正経十二経脈⑤・消化器系③）
16	鍼灸臨床で必要な経絡経穴と解剖学（奇穴①・泌尿器系）
17	鍼灸臨床で必要な経絡経穴と解剖学（奇穴②・感覚器系①）
18	鍼灸臨床で必要な経絡経穴と解剖学（奇経・感覚器系①）
19	期末試験
20	解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	衛生学公衆衛生学	担当者名	大庭　慎一朗

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	人体と環境との繋がりを学び、医療に必要な衛生学的知識を習得させ、身につけることを目的とする。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果、及び授業態度で評価する。
その他	大庭　慎一朗（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	衛生学・公衆衛生学	鈴木庄亮・他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	衛生学について・第１章：衛生学とは
2	第2章：健康の概念2
3	第3章：ライフスタイルと健康
4	第4章：環境と健康：日常生活環境・環境問題1
5	第4章：環境問題2
6	第5章：産業保健
7	第6章：精神保健の意義、精神の健康、精神障害の現状と分類Ⅰ
8	第7章：母子保健
9	第8章：老人・高齢者保健の意義・加齢と老化・生活習慣病の特徴と対策
10	第8章：老人福祉対策、介護保険、難病対策の現状
11	第9章：感染症の意義と種類
12	第9章：発生要因・感染症
13	第10章：消毒法一般、消毒の種類
14	第11章：疫学
15	第12章：保健統計①
16	第12章：保健統計②
17	第12章：保健統計③
18	国際保健
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学臨床論2	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	東洋医学概論で学んだ概念を元に、臨床上遭遇しやすい疾患・症候についての概要と治療法を理解することを目的とする。 また治療の適不適の鑑別を判断し適切な鍼灸治療が行えるように、東洋医学的、西洋医学的の両観点から疾患の知識を深める。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	馬男木　亨（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	顔面神経麻痺　ベル麻痺・ハント症候群
2	顔面神経麻痺　聴神経鞘腫・後遺症
3	頭痛
4	顔面痛・胸痛
5	女性特有症候　月経困難症
6	女性特有症候　月経前症候群
7	女性特有疾患　性器出血・帯下
8	女性特有疾患　不妊症・つわり
9	女性特有疾患　骨盤位・乳汁分泌不全
10	中間試験　解答・解説
11	小児特有疾患　疳の虫
12	小児特有疾患　夜尿症
13	小児特有疾患　小児喘息
14	老年特有疾患　ロコモ・サルコペニア・フレイル
15	老年特有疾患　認知症
16	歩行異常　片麻痺・PD
17	口喝　糖尿病・シェーグレン症候群
18	膠原病　全身性強皮症
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学臨床論3	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数						40

授業概要	東洋医学概論で学んだ概念を元に、臨床上遭遇しやすい疾患・症候についての概要と治療法を理解することを目的とする。 また治療の適不適の鑑別を判断し適切な鍼灸治療が行えるように、東洋医学的、西洋医学的の両観点から疾患の知識を深める。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	馬男木　亨（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	脱毛症
2	耳鳴り・難聴
3	排尿障害・勃起障害
4	頚肩腕痛
5	腰下肢痛
6	肩痛
7	上肢スポーツ障害
8	下肢スポーツ障害
9	現代医学的治療の考え方
10	中間試験　解答・解説
11	臨床応用　陰陽論・五行論
12	臨床応用　臓腑の生理作用
13	臨床応用　臓腑の病証
14	臨床応用　舌所見
15	臨床応用　脈所見
16	臨床応用　気血津液弁証
17	臨床応用　臓腑弁証
18	臨床応用　治法・治則
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	鍼灸理論2	担当者名	宮原　正人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	医療の中で求められる鍼灸治療の基本知識や生体反応について理解し、東洋医学と西洋医学の相互理解を深めることを目的とする。 ここでは鍼灸臨床で用いる器具、技術、衛生処置、リスク管理、生体反応、研究、学説について学ぶ。
成績評価	原則として、授業態度、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	宮原　正人（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう理論（第2版）	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書	はりきゅう理論（第3版） 生理学（第3版）	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社

回数	授業計画
1	第9章　鍼灸治効の基礎
2	第9章　鍼灸治効の基礎
3	第9章　鍼灸治効の基礎
4	第9章　鍼灸治効の基礎
5	第9章　鍼灸治効の基礎
6	第9章　鍼灸治効の基礎
7	復習とまとめ
8	問題演習1
9	問題演習2
10	中間試験
11	第10章　鍼灸療法の一般治効理論
12	第10章　鍼灸療法の一般治効理論
13	第10章　鍼灸療法の一般治効理論
14	第10章　鍼灸療法の一般治効理論
15	第10章　鍼灸療法の一般治効理論
16	第10章　鍼灸療法の一般治効理論
17	復習とまとめ
18	問題演習
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	社会鍼灸学	担当者名	大庭　慎一郎

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	はり師きゅう師として業務に従事するうえで、理解しておくべき法令を学ぶ。 鍼灸臨床現場で必須の知識・リスクへの対処などを改めて学ぶ。
成績評価	出席点、定期試験の結果で評価する。
その他	大庭　慎一郎（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	関係法規、医療概論	教科書執筆小委員会　著 （社）東洋療法学校協会　編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	第1章　あはき法　免許と試験、業務、学校、養成施設、指定試験（登録機関）、審議会及び試験委員、罰則
2	第2章　関係法規　医療法規と医療制度、医療法
3	医師法、その他の医療従事者に関する法律
4	薬事法、衛生関係法規
5	衛生関係法規②
6	衛生関係法規③
7	社会福祉関係法規
8	社会保険関係法規
9	中間試験
10	鍼灸臨床現場で求められる基礎知識①；第31回　国家試験問題（解剖生理学・内臓）　解説
11	鍼灸臨床現場で求められる基礎知識②；第30回　国家試験問題（解剖生理学・内臓）　解説
12	鍼灸臨床現場で求められる基礎知識③；第29回　国家試験問題（解剖生理学・内臓）　解説
13	鍼灸臨床現場で求められる基礎知識④；第28回　国家試験問題（解剖生理学・内臓）　解説
14	鍼灸臨床現場で求められる基礎知識⑤；第27回　国家試験問題（解剖生理学・内臓）　解説
15	鍼灸臨床現場で求められる基礎知識⑥；第26回　国家試験問題（解剖生理学・内臓）　解説
16	鍼灸臨床現場で求められる基礎知識⑦；第25回　国家試験問題（解剖生理学・内臓）　解説
17	鍼灸臨床現場で求められる基礎知識⑧；第24回　国家試験問題（解剖生理学・内臓）　解説
18	問題演習①；第23回　国家試験問題（解剖生理学・内臓）　解説
19	問題演習②；第22回　国家試験問題（解剖生理学・内臓）　解説
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技1	担当者名	山野　州康

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数					40	

授業概要	中医学と経絡治療を基盤とした伝統医学的治療の考え方、治療法を体得する。
成績評価	期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。
その他	山野　州康（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書	経絡経穴概論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社

回数	授業計画
1	背候診
2	腹診、脈診
3	経絡治療①概要
4	経絡治療②基本治療
5	経絡治療③超浅刺
6	経絡テスト①概要
7	経絡テスト②頸部、腰部
8	経絡テスト③上肢
9	経絡テスト④下肢
10	中国鍼刺入練習①後頭部、頸部の排刺
11	中国鍼刺入練習②頭部、顔面部、咽頭部
12	中国鍼刺入練習③腹部、陽明排刺
13	中国鍼刺入練習④腰部、下肢の排刺
14	銀鍼刺入練習①刺鍼の手順
15	銀鍼刺入練習②自身の体への刺鍼（旋撚刺法）
16	銀鍼刺入練習③自身の体への刺鍼（雀啄術、回旋術）
17	銀鍼刺入練習④他者の体への刺鍼（下肢）
18	銀鍼刺入練習⑤他者の体への刺鍼（腰部）
19	期末試験
20	期末試験/解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技2	担当者名	大中　孝子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数					40	

授業概要	レディース鍼灸（女性特有の疾患・症状）について治療の考え方、治療法を体得する。
成績評価	定期試験の成績、出席状況、授業態度を総合的に判断し評価する。
その他	大中　孝子（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書			

回数	授業計画
1	レディース鍼灸について
2	自律神経の調整（冷え～不定愁訴）
3	婦人科：周期異常
4	婦人科：月経痛①
5	婦人科：月経痛①
6	婦人科：不妊
7	婦人科：骨盤位
8	マタニティ鍼灸：妊娠時へのアプローチ
9	更年期障害
10	美容の鍼①
11	美容の鍼②
12	美容の鍼③
13	美容の鍼④
14	美容の鍼⑤
15	美容の鍼⑥
16	美容の鍼⑦
17	美容の鍼⑧
18	美容の鍼⑨
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技3	担当者名	宮原　正人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数						40

授業概要	代表的な運動器疾患を題材に局所解剖を理解し、部位・深度・刺入方法で鍼を刺入することができる。
成績評価	出席状況、試験・レポート、授業態度等、施術に携わる社会人としての自覚を加味して総合的に評価します。
その他	宮原　正人（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書	解剖学	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版

回数	授業計画
1	腰痛を例に運動器の捉え方
2	中臀筋パルスと身体の使い方
3	中臀筋ストレッチと刺鍼の比較
4	前脛骨筋への刺鍼
5	下腿三頭筋の見方
6	下腿三頭筋・ヒラメ筋への刺鍼
7	下腿三頭筋内側頭の見方
8	大腿四頭筋の見方
9	膝関節へのアプローチ
10	股関節へのアプローチ①
11	股関節へのアプローチ②
12	股関節へのアプローチ③
13	体幹へのアプローチ①
14	体幹へのアプローチ②
15	頭部へのアプローチ
16	期末試験①
17	下肢筋まとめ
18	期末試験②　吸角の使い方
19	総括①
20	総括②

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技4	担当者名	村上　晋介

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数						40

授業概要	鍼灸臨床でよく見られる不定愁訴を中心に、現代医学的アプローチ、東洋医学的アプローチによる治療を学ぶ。
成績評価	期末試験および授業態度を考慮し、総合的に評価する。
その他	村上　晋介（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
	配布プリント		

回数	授業計画
1	頸肩腕痛に対する鍼灸治療①
2	頸肩腕痛に対する鍼灸治療②
3	頸肩腕痛に対する鍼灸治療③
4	肩関節痛に対する鍼灸治療①（肩関節周囲炎・腱板炎）
5	肩関節痛に対する鍼灸治療②（肩関節周囲炎・腱板炎）
6	肩関節痛に対する鍼灸治療③（肩関節周囲炎・腱板炎）
7	腰痛に対する鍼灸治療①（筋筋膜性腰痛・椎間関節性腰痛）
8	腰痛に対する鍼灸治療②（筋筋膜性腰痛・椎間関節性腰痛）
9	腰痛（下肢症状を伴う）に対する鍼灸治療①（ヘルニア・坐骨神経痛）　坐骨神経刺鍼（鍼通電）
10	腰痛（下肢症状を伴う）に対する鍼灸治療②（ヘルニア・坐骨神経痛）　坐骨神経刺鍼（鍼通電）
11	腰痛（下肢症状を伴う）に対する鍼灸治療③（ヘルニア・坐骨神経痛）　坐骨神経刺鍼（鍼通電）
12	膝痛（変形性膝関節症・ランナー膝）に対する鍼灸治療①
13	膝痛（変形性膝関節症・ランナー膝）に対する鍼灸治療②
14	胸郭出口症候群に対する鍼灸治療
15	特殊鍼法①
16	特殊鍼法②
17	特殊鍼法③
18	治療のまとめ
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技5	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数						40

授業概要	我が国は超高齢社会となり、益々高齢者の割合が増えることが予測される。そこで、東西両方の観点から 高齢者特有の疾患・症状を理解し、適切な鍼灸治療を体得する。
成績評価	定期試験の成績、出席状況、授業態度を総合的に判断し評価する。
その他	馬男木　亨（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書			

回数	授業計画
1	肩凝り、頭痛
2	経絡治療（概要）
3	経絡治療（脈診）
4	眩暈、耳鳴、難聴
5	経絡治療（配穴・治療）
6	排尿障害（夜間頻尿、過活動膀胱、前立腺肥大症）
7	排便障害（便秘、下痢）
8	脳卒中後遺症
9	パーキンソン病
10	不眠
11	うつ
12	運動器症状（腰痛、膝OA）
13	糖尿病
14	帯状疱疹
15	認知症
16	ロールプレイ
17	期末試験
18	期末試験/解答・解説
19	臨床練習①
20	臨床練習②

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実習3	担当者名	大中　孝子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				1	授業時間数					45	

授業概要	これからの鍼灸師にとっても不可欠な能力である医療面接技法のスキルアップさせるために具体的な症例を用いて実習を行う。 実際に臨床現場で必要な人材になるための人格教育、また業務に必要なカルテの記載力向上を図ることを目的とする。
成績評価	レポート、出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。
その他	大中　孝子（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	プリント配布		
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション(臨床実習の進め方)
2	オリエンテーション(医療面接の復習)
3	臨床実習に向けての実習①
4	臨床実習に向けての実習②
5	臨床実習に向けての実習③・ 臨床実習施設での実習
6	臨床実習に向けての実習④・ 臨床実習施設での実習
7	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
8	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
9	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
10	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
11	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
12	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
13	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
14	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
15	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
16	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
17	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
18	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
19	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
20	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
21	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
22	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
23	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
24	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
25	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
26	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
27	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
28	臨床実習施設での実習　、グループディスカッション
29	まとめ1
30	まとめ2

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実習4	担当者名	大庭慎一朗、村上　晋介、篠原卓也、宮原　正人、馬男木亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				1	授業時間数						45

授業概要	これからの臨床にとって必要な知識と技術の向上を目的に、具体的な症例を用いたシュミレーションを行う。 また、症例から得られた情報をまとめ、カンファレンス形式で発表する。
成績評価	レポート、出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。
その他	大庭慎一朗、村上　晋介、篠原卓也、宮原　正人、馬男木亨（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	プリント配布		
参考図書			

回数	授業計画
1	概要、医療人としての心得
2	医療面接（SOAP）
3	理学検査の要点と注意事項
4	消毒法の要点と注意事項
5	医療面接（SOAP）②
6	取穴法の要点と注意事項
7	病態把握（弁証）
8	医療面接（SOAP）③
9	病態把握（現代医学的疾患）
10	理学検査　上肢
11	臨床シュミレーション①
12	理学検査　MMT,ROM
13	理学検査　下肢
14	臨床シュミレーション②
15	主要経穴の取穴
16	反射
17	臨床シュミレーション③
18	臨床シュミレーション④
19	医療面接～検査の流れ①
20	医療面接～検査の流れ②
21	臨床シュミレーション⑤
22	臨床シュミレーション⑥
23	症例カンファレンス
24	症例カンファレンス
25	臨床演習
26	臨床演習
27	臨床演習
28	臨床演習
29	臨床演習
30	臨床演習

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習3	担当者名	大庭慎一朗、村上　晋介、篠原卓也、宮原　正人、馬男木亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数					40	

授業概要	これまでに習得した知識を基礎から確認し、応用的な知識へと向上させることを目的とする。
成績評価	期末試験、授業態度、知識及び習熟状況を総合的に評価。
その他	大庭慎一朗、村上　晋介、篠原卓也、宮原　正人、馬男木亨（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション　問題演習①基礎（解剖学）　解答・解説
2	
3	問題演習②基礎（生理学）　解答・解説
4	
5	
6	問題演習③基礎（病理学・臨床医学総論）　解答・解説
7	
8	
9	問題演習④基礎（臨床医学各論）　解答・解説
10	
11	
12	問題演習⑤基礎（東洋医学概論・経絡経穴概論）　解答・解説
13	
14	
15	問題演習⑥基礎（東洋医学臨床論・はり理論・きゅう理論）　解答・解説
16	
17	
18	期末試験　解答・解説
19	
20	

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習4	担当者名	篠原　卓也

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数						40

授業概要	解剖学と生理学、病理学の科目間の連携をはかり、 実際の鍼灸臨床に役立つようにさらに深く理解することを目的として総合的に学習する。
成績評価	原則として、授業態度、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	篠原　卓也（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版） 生理学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 佐藤優子・佐藤昭夫他　著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	鍼灸臨床で必要な解剖学　（総論①）
2	鍼灸臨床で必要な解剖学　（総論②）
3	鍼灸臨床で必要な解剖学　（総論③）
4	鍼灸臨床で必要な解剖学　（運動器系①）
5	鍼灸臨床で必要な解剖学　（運動器系②）
6	鍼灸臨床で必要な解剖学　（運動器系③）
7	鍼灸臨床で必要な解剖学　（循環器系①）
8	鍼灸臨床で必要な解剖学　（循環器系②）
9	鍼灸臨床で必要な解剖学　（循環器系③）
10	中間試験　解答・解説
11	鍼灸臨床で必要な解剖学　（循環器系④）
12	鍼灸臨床で必要な解剖学　（循環器系⑤）
13	鍼灸臨床で必要な解剖学　（神経系①）
14	鍼灸臨床で必要な解剖学　（神経系②）
15	鍼灸臨床で必要な解剖学　（神経系③）
16	鍼灸臨床で必要な解剖学　（神経系④）
17	鍼灸臨床で必要な解剖学　（神経系⑤）
18	鍼灸臨床で必要な解剖学　（神経系⑥）
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習5	担当者名	宮原　正人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数						40

授業概要	鍼灸理論、病理学概論、臨床医学総論の科目の理解をはかり、 実際の鍼灸臨床に役立つようにさらに深く理解することを目的として総合的に学習する。
成績評価	原則として、授業態度、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	宮原　正人（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう理論 病理学概論 臨床医学総論	教科書執筆小委員会著 滝沢登一郎・畠山茂著 奈良信雄著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版 株式会社
参考図書			

回数	授業計画
1	はりきゅう理論 第1章　概論　第2章　鍼の基礎知識
2	はりきゅう理論 第3章　刺鍼の方法と術式
3	はりきゅう理論 第4章　特殊鍼法
4	はりきゅう理論 第5章　灸のj基礎知識　第6章　灸術の種類
5	はりきゅう理論 第7章　鍼灸の臨床応用
6	はりきゅう理論 第8章　リスク管理
7	病理学概論 第2章　疾病(病気)について基本的考え方　第3章　病因
8	病理学概論 第4章　循環障害①　ヒトの循環系～出血
9	病理学概論 第4章　循環障害②　血栓症～ショック
10	中間試験
11	病理学概論 第5章　退行性病変
12	病理学概論 第6章　進行性病変
13	病理学概論 第7章　炎症
14	病理学概論 第8章　腫瘍
15	病理学概論 第9章　免疫異常・アレルギー　第10章　先天性異常
16	臨床医学総論 第10章　おもな症状の診察法　1. 頭痛～10. 息切れ
17	臨床医学総論 第10章　おもな症状の診察法　11. 動悸～20. 多尿
18	臨床医学総論 第10章　おもな症状の診察法　21. 浮腫～30. 肥満
19	臨床医学総論 第10章　おもな症状の診察法　31. やせ～40. 貧血
20	期末試験／期末試験解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和5年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習6	担当者名	大庭慎一朗、村上　晋介、篠原卓也、宮原　正人、馬男木亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数						40

授業概要	問題演習を通して、各科目の習得度を確認し、さらなる知識の向上を
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	大庭慎一朗、村上　晋介、篠原卓也、宮原　正人、馬男木亨（鍼灸施術所におけてはり師きゅう師として勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論 東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	問題演習①応用（医療概論・衛生学公衆衛生学・関係法規）　解答・解説
2	
3	問題演習②応用（解剖・生理学）　解答・解説
4	
5	
6	問題演習③応用（病理学・臨床医学総論・臨床医学各論）　解答・解説
7	
8	
9	問題演習④応用（東洋医学概論・経絡経穴概論）　解答・解説
10	
11	
12	
13	問題演習⑤応用（東洋医学臨床論・はり理論・きゅう理論）　解答・解説
14	
15	
16	
17	期末試験　解答・解説
18	
19	
20	